

植物多様性センターの「角なしツノハシバミ？」

正門と情報館を結ぶ園路沿いの武蔵野の雑木林に、黄色に色づく低木があります。ツノハシバミです。もしかして皆さん勘違いしていませんか？枝についたうろこ模様のあるバナナのような細長いものは、ツノハシバミの「角」ではありません。春に咲く雄花序の冬芽です。ほんとうの「角」は、長い果苞に包まれた果実を指します。じつは残念ながら、今年は全く確認できませんでした。



黄葉: 秋には黄色く色づき、やがて落葉する(11月)



雄花序: 夏の終わりにできる花序は尾状花序で裸芽(11月)



雌花序: 雄花序と同時に花芽は形成され、こちらは鱗芽(11月)



堅果: 細く長い「角」のような果苞につつまれる(昨年7月)